



特集 ロール・ブランケット



1～3月は1,104トンで横ばい、製鉄用減少も製紙用が2ケタ伸長

日本ゴム工業会：統計委員会（ロール製品関係7社）による2020年1～3月のロール累計生産量は、合計1,104トンで前年同期比0.7%増とほぼ横ばいとなった。前年好調だった製鉄用が同4.1%減と落ち込んだ一方、前年不調だった製紙用が同13.0%増と2ケタの伸長を果たした。そのほか、印刷用が同1.2%増、その他ロールが同0.6%増となり、トータルでは底堅く推移した。ロールメーカー各社の業績も3月までは概ね堅調。しかし、4月以降は新型コロナウイルス感染拡大の影響が出始めてくるとみられ、4～6月以降の統計にはこれらの影響が反映されてくると思われる。

2020年1～3月のロール生産量を用途別にみると、製鉄用は5四半期(Q)ぶりの減少。前年は年間を通して好調を維持していたが、米中貿易摩擦による市況悪化の影響が統計に表れたとみられる。鉄鋼業界では中国等の生産拡大により世界の粗鋼生産量は増加傾向で推移している。市況が悪化するとこれらは供給過剰気味となり、国内の鉄鋼メーカーは利益を確保しにくくなる。国内の鉄鋼メーカーはコスト競争力強化のため企業統合を継続しており、それに伴う高炉・工場の統合などで、ロールメーカーの売り先であるライン数は減少、受注も厳しい状況となっている。

製紙用は前年4Qから好転し、今年1Qも流れが続いているが、デジタル化によるペーパーレス化や新聞・雑誌・書籍の低迷など取り巻く環境は依然として厳しい。製紙用はサイズ・重量が大きいものが多く、取り換え需要が重なり生産量の増減幅が大きくなるとみられるが、長期的には製紙の国内市場は縮小傾向となっている。日本製紙連合会がまとめた「5月の紙・板紙需給速報」では、新聞用紙の国内出荷は31カ月連続減、印刷・情報用紙は10カ月連続減、包装用紙は14カ月連続減と軒並み減少している。

印刷用は微増となったが、製紙用と同じくペーパーレス化の影響で印刷業

界の市場は縮小傾向。中でも、底堅い需要を示しているのがUV印刷機で、速乾性による短納期だけでなく、揮発性有機溶剤を含まないUVインキを使用するなどの環境対応も魅力となっている。ロールメーカーも「これから印刷機を導入する場合はほぼUV印刷機を選択する」と見ており、印刷用を扱うメーカーはUV印刷に対応した高機能製品を投入し、業績の牽引役としている。

その他ロールはほぼ横ばい。その用途はフィルム用、搬送機器用、住宅外壁用など多岐にわたるため、一概に動向を把握することはできない。しかし、光学フィルムやタッチパネル、食品包装印刷などの工程で使用される高機能フィルム用ロールの需要は旺盛だ。コロナの影響が出ている6月時点でも「テレワーク等の増加で今後の需要は伸びる可能性もある」と見ているメーカーもあり、市況に左右されにくい底堅さがうかがえる。優れた技術が求められる高付加価値製品のため利益を確保しやすいことも魅力で、多くのメーカーが業績向上の要に据えている。

ロール各社にも新型コロナウイルスの影響

今回取材したロールメーカーの業績をみると、3月まではコロナの影響も少なく概ね堅調だが、緊急事態宣言が出された4月以降に業績に影響が出

ロールの四半期別生産量推移

用途別	2019年					2020年	
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	1-3月	
製鉄用	ゴム	262,768	245,685	238,350	270,106	1,016,909	260,140
	(前年同期比)	116.7	116.2	104.8	113.2	112.6	99.0
	合成樹脂	55,917	55,653	47,977	50,431	209,978	45,433
	(前年同期比)	118.7	112.5	98.7	104.0	108.4	81.3
計	318,685	301,338	286,327	320,537	1,226,887	305,573	
(前年同期比)	117.0	115.5	103.7	111.7	111.9	95.9	
製紙用	ゴム	75,890	81,478	92,415	115,004	364,787	98,642
	(前年同期比)	79.0	74.1	83.6	116.9	87.9	130.0
	合成樹脂	32,815	29,238	35,004	32,632	129,689	24,202
	(前年同期比)	78.7	83.8	96.6	100.6	89.3	73.8
計	108,705	110,716	127,419	147,636	494,476	122,844	
(前年同期比)	78.9	76.4	86.8	112.9	88.3	113.0	
印刷用	ゴム	388,454	389,552	390,938	369,421	1,538,365	393,117
	(前年同期比)	96.9	98.5	102.8	91.4	97.3	101.2
	合成樹脂	2,810	2,801	2,858	2,616	11,085	2,943
	(前年同期比)	99.4	100.3	107.6	92.4	99.8	104.7
計	391,264	392,353	393,796	372,037	1,549,450	396,060	
(前年同期比)	96.9	98.5	102.8	91.4	97.3	101.2	
その他	ゴム	270,061	267,300	306,642	282,119	1,126,122	273,072
	(前年同期比)	97.2	99.8	118.0	95.5	102.3	101.1
	合成樹脂	8,247	5,273	6,222	5,059	24,801	6,843
	(前年同期比)	131.3	77.6	97.0	55.7	86.8	83.0
計	278,308	272,573	312,864	287,178	1,150,923	279,915	
(前年同期比)	98.0	99.2	117.5	94.3	101.9	100.6	
合計	ゴム	997,173	984,015	1,028,345	1,036,650	4,046,183	1,024,971
	(前年同期比)	99.7	99.9	105.1	100.0	101.2	102.8
	合成樹脂	99,789	92,965	92,061	90,738	375,553	79,421
	(前年同期比)	101.9	99.0	98.0	97.8	99.2	79.6
計	1,096,962	1,076,980	1,120,406	1,127,388	4,421,736	1,104,392	
(前年同期比)	99.9	99.8	104.5	99.8	101.0	100.7	

(注)①生産量はコンパウンド量により、仕上げ代(しろ)を含む(社内不良分は除く)②ウレタンゴムは合成樹脂を含む③「その他用」はほかの用途別に入らないロールとし、2006年1-3月から、染色・化繊用を含むこととする。このほか、第1次フィルム用、搬送機器用、外壁等住宅用等がある④「事務機用」は集計の対象としない。

め、5月は前年同月割れになったメーカーが多い。ロールの受注獲得には小まめに取引先を訪問し、ニーズを汲み上げることが重要となるが、自粛によりこれらの営業活動がままならないことに加え、取引先の生産活動が鈍化・停止したことで需要そのものが減少したことが響いている。また、ユーザーと直接交渉できる展示会に出展できないことも痛手となっているようだ。

6月下旬に県をまたいだ移動が全面解禁されて以降、多くの企業で営業活動を再開したようだが、7月に入り感

染者数が拡大傾向となると再び社会の自粛ムードが強まるなど、今後の見通しは全くの不透明。あるメーカーでは「これまでは「1軒でも多く訪問する」ことが営業方針だったが、これからはウェブ商談・メール・電話・DM等を駆使して「訪問回数を減らしながら顧客との接触回数を増やす」新たな方針で臨む」と話す。

今後は今までの発想を転換し、コロナ禍に対応した新しい営業スタイルをいかに早く確立できるかが、業績の維持・向上のカギになりそうだ。

ゴムロール・ゴムブランケット

国内・海外各地に拠点を展開、
世界に誇るネットワークを通じて更なる躍進を目指します。

kinyo 株式会社 金陽社
http://www.kinyo-j.co.jp/

本社 ☎141-0032 東京都品川区 大崎1-2-2
アートヴィレッジ大崎セントラルタワー6階 ☎(03)5745-6200 FAX(03)5745-6210
営業本部 ☎136-0082 東京都江東区新木場1-1-1 ☎(03)3522-3602 FAX(03)3522-3650
大阪支店 ☎576-0054 大阪府交野市幾野6-1272-1 枚方工業団地内 ☎(072)859-3535 FAX(072)859-3549

KATSURA 私たちはこれからも 新しい価値を提供してまいります

KATSURAブランドの高機能ローラーシリーズ

- 静電気帯電防止ローラー
- 粘着性帯電防止クリーナーローラー
- 高弾力性シリコンローラー
- ノンブリード・ブリードレスローラー
- 高性能印刷ローラー
- e-コア(巻き取りコア)

i Roller

「e-コア」は大阪発の優れた環境技術
「ゴールド・エコテック」受賞

株式会社 加賀ローラー製作所

●工場 茨城/千葉/滋賀/大阪/九州
●営業所 仙台/千葉/東京/神奈川/静岡/岡山/名古屋
滋賀/大阪/岡山/高松/九州

本社 〒544-0005 大阪府生野区中川5-3-13
TEL(06)6751-1121 FAX(06)6754-4400 URL http://www.katsura-roller.co.jp

特集 ロール・ブランケット

フレキシ印刷用ゴム版、ロールなど拡販



金陽社

金陽社の2020年3月期業績は減収ながら増益となった。上期は米中貿易摩擦の影響で中国向けのブランケット販売が減少、欧州向けも伸び悩んだが、下期以降は回復傾向で推移し、上期の不調を補った。

売上高を製品別にみると、ロール部門はほぼ前期並みの水準となった。

フィルム用はタッチパネルや光学フィルムなど高付加価値製品が好調で増収となったが、製紙用は厳しい受注状況が続く減収。OA機器用も新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、中国・深圳の工場停止などの影響があり減収。印刷用と鉄鋼用は前期並みだった。

ブランケット部門は、国内・海外とも前期並みの水準。国内では、新聞用メタルバックブランケットやUV印刷用の販売が伸長したほか、ビジネス

フォームや製罐印刷向けの「エアータック」も好調が持続した。海外では中国、欧州市場の受注回復に加え、米州、東南アジア、中近東などへの輸出が伸長。金額ベースでは前期並みだったが、数量ベースでは前期を上回った。

今期は第3期3カ年計画の2年目として増収を計画しているが、「新型コロナウイルスの影響で相当厳しいものになる」(金陽社)とみている。4、5月の実績は前年同月を下回っており、「当面は厳しい受注環境が継続していく」(同)と予測。前期好調だったUV印刷用やフィルム用製品を中心に、幅広い

製品群の拡販により一層努めることで、売り上げの増加につなげていく。

製品面で期待しているのが、フレキシ印刷用製品やゴムロールに極薄金属を被覆した金属表面ゴムロール。フレキシ印刷は環境に優しい印刷方式として、これまで以上に需要が増加していくとみて、対応するゴム版材「キンヨーフレックス」やゴムロールの展開も注力する。一方、金属表面ゴムロールは、高機能フィルムの製造工程で問題となる異物やごみの低減など、様々な課題解決を実現する製品としてニーズの探索や改良を進めていく。



加貫ローラ製作所

加貫ローラ製作所の2020年3月期業績は、売上高、利益ともに前期並みで推移した。「印刷用ローラーは機械メーカーを中心に動きが鈍化した影響を受けて若干落ち込んだ。一方、工業用ローラーは当社が得意とするフィルム用を中心に堅調に推移。印刷用の落ち込みを工業用がカバーした形になった」(加貫ローラ製作所)。

今期(2021年3月期)足元(4~6月)の状況については、「新型コロナ

ウイルス感染症の拡大で、苦戦を強いられている。機械メーカーは、新型コロナウイルスの影響で輸出が落ち込んでいる。輸出が正常の状態に戻ってくれないと当社のような部品を供給するメーカー

家庭用食品向け印刷等への展開を強化

も厳しい。新型コロナウイルスが早期に収束してくれることを期待しているが、上期(4~9月)で終わるようなものではなく、期を通じてこの影響は続くともみている」(同)という。

同社は2019年4月から3カ年の中

期経営計画をスタート。今期はその2年目に当たる。ただ、新型コロナウイルスという想定外の要因が、業績に大きく影響を与えている。「当社はユーザーを訪問し、直接対話しながらユーザーの課

題解決に寄与できるような製品・技術を提案するというのが基本的な営業スタイルだが、現状ではそれもままならず、この影響がいつまで続くか見通しがかからない。中期経営計画の見直しも検討している」(同)。

ただ、新型コロナですべての用途が停滞しているわけではない。「印刷用でみると、贈答品等梱包包装などの印刷物は低調だが、家庭用食品向けの印刷物は堅調だ。今後はこうした堅調な分野への展開は維持・強化しつつ、低調な分野の情報収集はコンスタントに行うことで現状を乗り切っていきたい。製品的にはゴムに限らず、ゴムに代わるような素材を使った新製品開発なども進めていきたい」(同)。12月には千葉・幕張メッセで開催される高機能フィルム展に出展し、製品・技術をアピールする予定だ。

印刷用伸び悩むもフィルム向けが好調



明和ゴム工業

明和ゴム工業の2020年9月期上期(2019年10月~2020年3月)業績は、印刷用ロールは前年同期比で伸び悩んだものの、工業用ロールは横ばいとなった。

部門別にみると、印刷用は若干の減収減益となった。新聞印刷用は厳しい市場環境のなか、横ばいを維持。商業

印刷用もペーパーレス化の進行などで市場は縮小傾向が続くなか、速乾性を備え環境にも優しいUV印刷向けの需要は底堅く推移したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響による受注減があり、業績は伸び悩んだ。

工業用は印刷用とは対照的に受注は好調を維持した。牽引役となったのが高機能フィルム向けで、シリコン材質の「シリックシリーズ」や導電性を備える「エレコンシリーズ」など課題

解決に資する充実したラインアップを展開し、食品・生活関連製品のパッケージ向けなどの受注が伸長した。

昨年12月に開催した「高機能フィルム展」でも、これまでに取り引きのなかった企業や海外からの問い合わせが増えるなど、同分野の注目度は上昇している。「材質はゴムから金属へとシフトしており、ゴムの巻替え需要こそ減少しつつあるが、確実に新規注文を獲得できている」(明和ゴム工業)。

今期に向けては新型コロナウイルスの影響による需要減は免れないとしながらも、「印刷用・工業用ともに目標達成に向

け、顧客満足度を向上させる新規製作案件を確実に受注につなげていく」(同)方針。

営業面では上期堅調だったUV印刷向けや高機能フィルム向けに引き続き注力する。UV印刷向けでは樹脂とゴム、両方の製品を有する強みを活かした営業活動を展開。高機能フィルム向けではフィルムのしわ抑制や蛇行防止に有効なロール(マイクロ溝、コンポジヘリカルロール)や、フタル酸フリータイプのゴムロール、滑り性を向上させたグレイテック処理ロールなどの高機能製品で拡販をはかる。



ゴムロール総合メーカー



明和ゴム工業株式会社

本社/東京都大田区下丸子2-27-20
TEL03-3759-4621(代)
http://www.meiwa-rubber.co.jp

営業所/北海道・盛岡・仙台・前橋・長野・名古屋・滋賀・京都・金沢・岡山・四国・九州

工場/北海道・東北・東京・前橋・京都生産技術センター・東京生産技術センター



弊社HPはこちら

ゴムロール、ウレタン製品の
スペシャリスト。

尾高ゴム工業株式会社

本社・工場
〒640-0413 和歌山県紀の川市貴志川町神戸77-3
TEL. 0736(64)0002 FAX. 0736(64)0003

特集 ロール・ブランケット

耐薬品性備えた「スーパーシंक」を提案

尾高ゴム工業

尾高ゴム工業の2020年3月期業績は、売り上げ、利益とも前期実績を若干上回った。

主力の製鉄用ロールは上期の受注は堅調に推移したものの、下期以降は需要が伸び悩み受注は鈍化した。「鉄鋼

業界では企業再編やそれに伴う工場・ラインの統廃合が継続。それに伴い、消耗品のゴムロールの予算も削減される傾向にあり、下期以降にその影響が表れてきている(尾高ゴム工業)。

そのような状況の中、製品面では高機能製品を中心に営業活動を展開。極めて高い機械的強度により耐エッジ摩耗を飛躍的に向上させた「タフエース

シリーズ」、高耐久・高摩擦係数を備えた「ハードクラッチ」、高摩擦係数に特化した「ハイクラッチシリーズ」などの製造ラインへの導入が進み、売り上げに貢献した。

今期については、新型コロナウイルス拡大の影響もあり「取り巻く環境が厳しく着地が予測しづらい状況(同)としながらも、これまで通り高機能製品の開発を継続するとともにユーザー視点での提案活動を推進する。海外市場も重要と捉え、マーケット展開を加速

させていくほか、「既存事業の強化とともに新事業に向けての取り組みも開始していきたい(同)考えた。

製品面では前述の高機能製品群に加え、「引き合いが増えてきている(同)」という新製品「スーパーシंक」にも注力する。硝酸・硝酸酸への高い耐薬品性を備えたゴムロールで、ステンレスの洗浄工程など硝酸・硝酸酸が使用される工程で、ゴムロールに微細な亀裂や粘着性が生じやすいといった問題を解消する製品として提案していく。

宮川ローラー

宮川ローラーの2020年3月期業績は、主力の印刷用や工業用など、各分野のローラーが堅調に推移したことで増収増益を達成した。

印刷用では、ペーパーレス・電子化などの影響で印刷市場は縮小傾向となるなか、速乾性が特徴のUV印刷向けや、省エネ・環境対応性能も備えたLED-UV印刷向けなどの需要は増加。特に幅広いUVインキに対応可能な「グランポール」の販売が堅調だった。また、食品包装関連需要も旺盛で、

グラビア印刷用圧胴ローラーの「セーフティインパクト・α」や、同印刷でファニッシャーロールとして使用される「ウレグラSV」が業績に貢献した。

一方、工業用では高機能フィルム向けとして、帯電・粘着ローラー「ミモ

ゼブラシリーズは3年ほど前に紙・不織布など厚めのワークに対応する「D」タイプと、極薄フィルムなどに対応する「M」タイプを追加したことで、より細かい顧客ニーズに対応できるようになり販売を伸ばしている(宮川ロー

ラー東京営業所)。

6月時点の状況は、「懸念していたほど新型コロナウイルスの影響は受けておらず、前年同期並みの水準を維持できている(同)。今後の動向については見通しは難しいとしながらも、「緊急事

フィルム分野で課題改善する製品が好評

ザ」シリーズやシワ防止ローラー「ゼブラ」シリーズの販売が順調だった。「両製品ともに、この分野のユーザーが頭を悩ませている静電気・シワ・ゴミなどの課題を改善する製品として好評で、展示会での注目度も高い。特に

が回復するとしても同部門の通期での数割減収は避けられない(水内ゴム)として、全体の業績にも大きな影響を与える見通し。ロール関連部門では、需要が増減しにくいもみすりロールは「前期並み(同)としながらも、工業用ロールでは減収を予測している。

「工業用ロールでは新規訪問を増やすなど、ここ数年にわたり特に営業活動に注力してきた。それが実を結び3、4月は新型コロナウイルスの影響を受けながらも受注は好調だったが、訪問営業の自粛などで5月から悪化し、6月もその状態が続いている。現在(6月下旬時点)は徐々に通常の経済活動を取り

戻してきたので巻き返し図り、通期では数%減収程度にはもっていききたい(同)考え。営業活動においては、コロナ以前の「1軒でも多く訪問する」から、ウェブ商談・メール・電話・DM等を駆使して「訪問回数を減らしながら接触回数を増やす」新たな方針で取り組んでいく。

なお、同社では工業用ロールで陥没価格の是正に取り組んでいる。「お付き合いが継続しなかったお客様も含め、今年3月中にはほぼ決着がついた。今回落ちた分の売り上げをカバーするため、新たな営業方針で業績アップにつなげていきたい(同)。

工業用ロールの陥没価格是正が決着

水内ゴム

水内ゴムの2020年1月期業績は売上高・利益ともに前期並みの水準だった。もみすりロール、ゴムロールともに需要は底堅く推移した。

ロール関連部門では、もみすりロール、工業用ロールともに業績はほぼ横ばい。主力のもみすりロールは定番品「ツインロール」の耐久性を向上させた新製品を展開しており、継続する減

少傾向に歯止めをかけた。

工業用ロールでは、シリコンロールが主要需要先となるスマートフォン需要の停滞を受けて落ち込んだものの、スポンジロールは建築関連業界が堅調で需要は横ばい。ゴムロールでは、企業再編によるライン統合など厳しい状況が続く鉄鋼業界で新規案件を獲得するなど、前期並みの水準を維持した。

2021年1月期については「新型コロナウイルスの影響でゴム用品需要の悪化に拍車が掛かっている。今後状況

が回復するとしても同部門の通期での数割減収は避けられない(水内ゴム)として、全体の業績にも大きな影響を与える見通し。ロール関連部門では、需要が増減しにくいもみすりロールは「前期並み(同)としながらも、工業用ロールでは減収を予測している。

「工業用ロールでは新規訪問を増やすなど、ここ数年にわたり特に営業活動に注力してきた。それが実を結び3、4月は新型コロナウイルスの影響を受けながらも受注は好調だったが、訪問営業の自粛などで5月から悪化し、6月もその状態が続いている。現在(6月下旬時点)は徐々に通常の経済活動を取り

戻してきたので巻き返し図り、通期では数%減収程度にはもっていききたい(同)考え。営業活動においては、コロナ以前の「1軒でも多く訪問する」から、ウェブ商談・メール・電話・DM等を駆使して「訪問回数を減らしながら接触回数を増やす」新たな方針で取り組んでいく。

なお、同社では工業用ロールで陥没価格の是正に取り組んでいる。「お付き合いが継続しなかったお客様も含め、今年3月中にはほぼ決着がついた。今回落ちた分の売り上げをカバーするため、新たな営業方針で業績アップにつなげていきたい(同)。

Miyakawa roller

SAFETY NEW IMPACT・α

溶剤に強く、高強度と帯電防止を兼ね備えた新型グラビア圧胴ローラー

- 硬度 70° 80°
- 用途 各種圧胴ローラー、コーティングローラー、帯電対策ローラー

高耐久性 低ランニングコスト

混合溶剤対応 帯電防止

高強度・高弾性 ひび割れしない

あらゆるご要望にお応えする新製品ラインナップ

- グラビア印刷用ファニッシャーローラー UREGRA-SV
 - 抜群の耐溶剤性
 - 高強度、耐久性に優れる
 - 硬度 52° 57°
- シワ防止用ローラー ZEBRA ROLLERシリーズ
 - 特殊溝加工による優れた拡張効果
 - 極薄ワークにも対応
- 白色帯電性・粘着ローラー SWEED MIMOSA
 - カーボンブラック無添加
 - 速べる粘着力
 - 優れた耐熱性

ユーザーの声をもとに、蓄積されたノウハウと最新技術で課題に応え、共に進化し続けます。

宮川ローラー株式会社

〒981-0134 宮城県宮城郡利府町しらかし台6-11-4 TEL.022(767)3831 FAX.022(766)4637

東京営業所 〒123-0872 東京都足立区江北6丁目25-13 TEL.03(3856)3301 FAX.03(3856)3415

大阪営業所 〒664-0001 兵庫県伊丹市荒牧3丁目14-3 TEL.072(775)6320 FAX.072(775)7012

仙台営業所 〒981-0134 宮城県宮城郡利府町しらかし台6-11-4 TEL.022(766)4633 FAX.022(766)4655

秋田営業所 〒010-1613 秋田市新屋朝日町28-2 TEL.018(863)0007 FAX.018(824)5736

仙台工場 〒981-0134 宮城県宮城郡利府町しらかし台6-9-2 TEL.022(356)4456 FAX.022(356)4442

MTC(宮川テクニカルセンター) 〒981-0134 宮城県宮城郡利府町しらかし台6-6-9 TEL.022(356)4473 FAX.022(356)4476

新潟 宮川ローラー株式会社 〒950-0814 新潟市東区逢谷内460-4 TEL.025(271)1906 FAX.025(271)1910

御商社様へ

MIZUUCHI

無料サンプルノートのご請求承ります!

スポンジロール

住宅用外壁材・合板製造などにおける塗装において均一な塗布状態が得られるとご好評いただいております! もちろん塗装ライン以外の納入実績もございます。

【シリコンロールも同時実施中】

営業部までお気軽にお問合せ下さい。

水内ゴム カタログ請求 検索

株式会社 水内ゴム

〒703-8222 岡山県岡山市中区下461 TEL.086-279-3211 FAX.086-279-3216 E-mail:sales@mzr.co.jp http://www.mzr.co.jp

特集 ロール・ブランケット

高度な技術開発評価され特殊品伸長

ブンカゴム

ブンカゴムの前期の状況は、上期から米中貿易摩擦などの影響で、一般工業分野向けや印刷分野向けなどの需要が低調に推移し、受注状況は前年同期比微減で推移した。下期も需要が低調だったことに加え、今年年初からは新型コロナウイルスの蔓延が需要動向にさらに影響を及ぼした。このような需要環境においても、同社の高度な技術開発力が評価され、特殊品のスポット

案件などが入り、売り上げ面では前期比10%程度の減少に留まった。

今期に入っても新型コロナウイルスの影響などにより需要環境は厳しさを増しているものの、特殊品のスポット案件などにより持ちこたえ、4月以降も同程度の減少で推移している。しかしこのまま需要が好転しなければ、7~8月頃には減少幅が一層拡大すると懸念している。

なお、同社ではマスク着用やアルコール消毒の徹底など、万全な対策を講じコロナ感染を防いでいる。

特殊品のスポット案件獲得などにも強みを有する同社は、高付加価値な特殊品の開発および拡販に注力しており、現在売上高の30~40%を占めるまでに伸長している。

この特殊品として高強度・耐摩耗ロール「マイティーA」、実用新案申請中のゴミ取り粘着(タック)ゴムロール「クリーン・ダッシュ」、高摩擦係数(スリップ防止)ゴムロール「マイタッチ」、静電気防止に威力を発揮する高導電性ゴムロール「ボルタックス」などを展開している。積極的に特殊品主体に拡販を図り、特に最近では物流機器や製鉄関連向けが増加傾向にある。中でも高精度が要求される特殊

コンベヤ用駆動ロールは、比較的堅調に推移しているほか、大型案件の受注などにも繋がっている。さらに代表製品「マイティーシリーズ」は、顧客からの銘柄指定も多くなっている。

同社では特殊品をはじめ、様々な製品の品質や機能を向上させるため、常に改良や新機能開発に注力している。一例として配合工夫による硬度変更にも取り組み、要求硬度を実現するなど、顧客からの評価向上に繋がっている。

これら製品は、高評価した口コミやネットによる新規顧客の獲得などによっても販路が拡大しており、特殊品が同社の定番製品としての評価を得るまでになっている。

東商ゴム工業

東商ゴム工業の2020年6月期業績は、売上高が前期比4.3%伸長し増収増益となった。売上構成品の2割を占めるOA機器ローラーが採用機種の好調で受注が伸びたほか、8割を占める多品種・小ロット品も堅調だった。

多品種・小ロット品は幅広い製品を展開しており、取引先は170社以上におよぶ。牽引役となったのが、繊維用と建築資材用の2種で、繊維用は市場が停滞気味のなか採用機種の取り換え需要が安定、建築資材用はオリンピック関連も追い風となり市場は活況

で需要も堅調に推移した。

同期は人員の増加も業績に貢献した。同社では社員の年齢構成の高さから定年退職者の増加を見越し、3年ほど前から積極的に中途採用を実施。ベテラン社員から新規採用社員への技術

工業)。

2021年6月期業績は「新型コロナウイルスの影響が出ており、厳しい状況」(同)としながらも、前期比5.4%増収を計画している。「売上高を追求するよりも付加価値を重視していく」

象アイテムは180件ほどあり、20年6月期中に6割ほどに是正をお願いした。離れてしまったお客様もいるが、スタッフの生活の安定と向上という経営理念に基づき、残り4割についても引き続き話を進めていく」(同)。

製品面ではOA機器用と建築資材用に期待を寄せる。OA機器用は官公庁向けの機種を扱う取引先からの受注が継続したことで安定した需要を見込む。一方、建築資材用は、押出成型機(MAXφ150)と円筒研削盤(MAX2,000L)等を備える横芝工場で一貫生産が可能なことから、「当社の強みを活かせる製品」(同)として自信を持って展開していく。

人員増で製造体制整い業績向上

の継承を行ってきた。定年退職者数以上の採用も実施しており、その結果、現在の社員数は44人と元の社員数から10人ほど増加。「彼らの技術承継も完了し、旺盛な需要にもしっかりと対応できる製造体制が整ったことが業績のプラスにつながった」(東商ゴム

(同)方針で、製造工程の段取りや原材料を見直すとともに陥没価格は正にも取り組んでいく。

価格是正については、「2019年10月に経理部門を横芝工場に移管したことにより不採算品の顕在化と抽出が容易となり、レートを見直している。対

「KTウォーター」がコロナ対策で注目

カワイチ・テック

新型コロナウイルス収束のめどが立たない状況の中、カワイチ・テック(千葉県成田市、川口秀一社長)が展開中する除菌・抗菌・消臭水「KTウォーター」が注目を集めている。

同製品は、非電解混合型次亜塩素酸水で、主成分は次亜塩素酸ナトリウム

と希塩酸の混合。人の白血球中で生成される殺菌成分と同等の除菌効果を有する。なお同社は今年4月から成田市や成田空港周辺の病院、ホテル、空港関連へ寄贈し、高評価を得た。

次亜塩素酸水に関しては、次亜塩素酸ナトリウムを希釈した水を次亜塩素酸水として誤って認識する消費者や販売業者まで現れ、噴霧は人体に悪影響を及ぼすなどの報道もあった。しか

し、6月26日に経済産業省などから「一定以上の濃度(有効塩素濃度35ppm以上)の製品を十分使った場合は効果がある」などと、有用性に関して発表がなされ、「KTウォーター」の新型コロナウイルス感染防止効果が改めて期待されている。

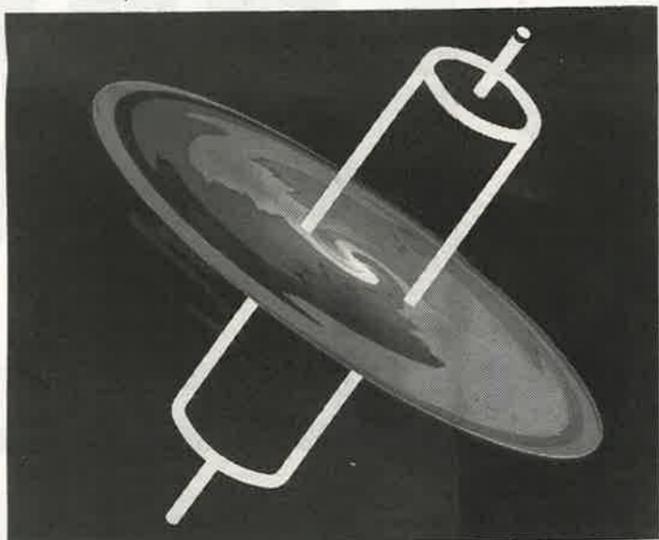
通常、次亜塩素酸ナトリウムに希塩酸を混合すると危険な塩素ガスが発生するが、同製品は特殊技術により塩素

ガスの発生を抑制。さらにアルコールも未使用で、安心・安全に使用できる。

使用法は、スプレーで手に吹きかけることにより、ウイルスなどを瞬時に不活性化する。なお空間噴霧(アルコールでは不可)の場合は、付着ウイルスや空気中の浮遊ウイルスを除去できるか国際的に評価は確立されていないとして、現状では無人の時間帯に行うことなどが推奨されている。

時代のニーズを先取りする
製品づくりをめざします。

一般工業用
印刷用 ゴムローラー



株式会社
ブンカゴム

Homepage <http://www.bunkagomu.co.jp>

●本社 東京都墨田区太平4-23-19
電話03(3625)0901代 FAX03(3625)0928
●吉川工場 埼玉県吉川市中井14
電話048(982)5153代 FAX048(981)1772
●松伏工場 埼玉県吉川市拾町野前新田89-1
電話048(992)4771 FAX048(992)4772

ポリマー・薬品・フィラー
各種原材料計り売り

在庫管理の手間を省きます
グラム単位から計り売り致します



合成薬品棚

常時在庫

- ポリマー 880 種類
- カーボン 60 種類
- 白色充填剤 130 種類
- 薬品 180 種類
- 可塑剤 90 種類
- 顔料 250 種類

◆常時在庫一覧表もあります

株式会社 竹原ゴム加工

〒508-0421 岐阜県中津川市加子母1797
TEL0573-79-3456 FAX0573-79-3321

- 日本全国4日以内にお届けします
- 異物除去、予備成形致します
- フッ素ゴム専用練り工場
少量練りから対応致します

<http://www.takenet.or.jp/~takegom>